

## 疑問詞疑問文に見られる助詞ハと「는/은」の 非対応をめぐる

—用例分析から見えてきた傾向を中心に—

尹 亭 仁・Seungja Kim Choi

Korean and Japanese have in common the grammatical category of case markers. Thus, in the case of native Korean learners of the Japanese language and the native Japanese learners of the Korean language, the effectiveness of second language learning is in general high. However, the usage of the case markers in the two languages is not always identical. We can see various cases of non-correspondence in the use of the case markers in the two languages.

Although the postpositional markers *wa* and *nun/un* correspond to each other in many areas, there are some areas in which *wa* and *nun/un* do not correspond: one remarkable mismatch is observed in WH-questions. In this paper, we observe two phenomena in WH-question sentences. First, in the case where the noun phrase (NP) or the pronoun in sentence initial position has neither determiner nor modifying phrase, nominative marker *ka/i* is used in Korean, whereas *wa* is used in Japanese.

Second, in the case where the NP has a determiner or modifying phrase, the marker in the Korean sentences which corresponds to *wa* in the corresponding Japanese sentence can be *nun/un*. The explanation lies in that the determiner or modifying phrase set the limit of the NP. In other words, whereas *wa* can occur when the NP in WH-questions are not limited, *nun* in Korean cannot. Unlike *wa*, *nun/un* in Korean always requires some kind of limitation.

**キーワード**：助詞ハ・韓国語助詞「는/은」・「가/이」・非対応・

## 1. はじめに

助詞という同じ文法カテゴリーを持っている韓国語を母語とする日本語学習者や日本語を母語とする韓国語学習者にとって、助詞の用法は正の転移 (positive transfer) が起こりやすい。(1)～(4)の例を見てみよう (以下, kは韓国語の文, jは日本語の文を表わす)。

- (1) j. 私は学生です。  
k. 나는 학생입니다.
- (2) j. 釜山が私の故郷です。  
k. 부산이 제 고향입니다.
- (3) j. みなとみらいは横浜にあります。  
k. 미나토미라이는 요코하마에 있습니다.
- (4) j. 私はいつも電車の中で本を読みます。  
k. 나는 언제나 전철 안에서 책을 읽습니다.

このように、語順や文構造が類似している両言語の学習者にとって助詞の用法は、特定の助詞がそれぞれの言語でどの助詞と対応するかを学習し、体言に接続させればいいのである。まずはハには「는neun/은eun<sup>1)</sup>」(例1, 3, 4), ガには「가ga/이i」(例2), ニには「에e/에게<sup>2)</sup> egei」(例3), デには「에서eise」(例4), ヲには「를reul/을eu」(例4)が対応することを覚えてもらうのである。場所名詞デと「에서」にat, in, onなどが対応する英語の前置詞と日本語や韓国語の助詞との関係を考えてみると、両言語の助詞の用法は学習者にとってとっつきやすいと言える。

しかし、これらの助詞の用法は必ずしも一致しない。従来、日韓両言語の助詞の用法に見られる不一致について様々な角度から対照研究が行われてきた<sup>3)</sup>。これらの助詞の対応の中で最も捉えにくいのが係助詞ハと韓国語の補助詞<sup>4)</sup>「는/은」の用法であると思われる。他の助詞の場合は、主に統語上の間違い、すなわち非文であることが判断しやすいが、ハと「는/은」の場合は意味の解釈や発話状況と関係する意味論的・語用論的違いであるため、非文であるかどうかの判定が下しにくい。また文頭に来る主格助詞「가/이」との関係も非常に密接である。ここに「가/이」の持つ統語論の問題まで絡むと混乱はさらに増す。

今まで両言語における助詞の対照研究, 取り分けこのハと「는/은」の

対応に見られる一致については洪思満 (1995・2002), Seungja Kim Choi (2000) などで取り上げられた。しかし, 完全な一致ではないため, 実際以下のような不一致も多々見られる。

- (5) j. ここはオフィスです。  
k. 여기가 사무실입니다.
- (6) k. 소녀가 전에 없이 암전히 있었다.  
j. 少女はいつになくおとなしくしていた。(『ソナギ』)
- (7) j. 誕生日はいつですか。  
k. 생일이 언제입니까?
- (8) k. 집이 어디예요? (『천사는 여기 머문다』)  
j. 家はどこですか。
- (9) j. 郵便局はどこにありますか。[AAP : 14]  
k. 우체국이 어디에 있어요?
- (10) j. 鯨は魚ではありません。[AAP : 10]  
k. 고래는 생선이 아닙니다.

さらに不一致は(11)(12)のような成句にも見られる。

- (11) j. 百聞は一見に如かず。  
k. 백문(百聞)이 불여일견 (不如一見) .
- (12) j. 悪貨は良貨を駆逐する。  
k. 악화(悪貨)가 양화(良貨)를 구축한다.

このような不一致は, 特に(7)~(9)のように疑問詞のある疑問文に顕著に見られる。これは韓国語教育の導入段階でぶつかる問題で, 日本における多くの韓国語テキストにはこれを取り上げた例が(13)~(16)のように提示されている。

- (13) k. 서점이 어디에 있습니까? [生越・曹喜澈2011 : 37]  
j. 書店はどこにありますか。
- (14) k. 생일이 언제입니까? [金京子・喜多2009 : 60]  
j. 誕生日はいつですか。
- (15) k. 이것이 무엇입니까? [金智賢2013 : 34]  
j. これは何ですか。
- (16) k. 가나가와대학이 어디에 있어요? [尹亭仁2014 : 14]  
j. 神奈川大学はどこにありますか。

生越・曹喜澈 (2011 : 37) では, (13)のような用例を挙げ, (17)のよう

な注意書きを付してある。

(17) いきなり何かを尋ねるときには, 가/이がよく使われる。日本語の「が」と違う点で, こういう使い方があることも知っておこう。

この注意書きの「いきなり何かを尋ねる」は, 韓国語の初級レベルにおいては分かりやすい説明だと思われるが, 状況とリンクさせるには不十分である。他の韓国語のテキストの場合, こういう注意書きすら付いていない。実際, 「いきなり」ではない場合や(5)(10)(11)(12)のように疑問文ではない場合にも不一致は見られる。また「いきなり」だが, ハに相当する「는/은」が使われる場面も少なくない。このことから, 上記のようなハと「는/은」の不一致の問題は非常に捉えにくいことが分かる。この不一致は, 疑問文や否定文だけでなく, 肯定文にも見られ, 単なる助詞の用法のずれだけでなく, 両言語の統語論・意味論レベルでの違いも含んでいる。今後多くの用例の分析に基づいた厳密な記述が求められる。

この問題はアメリカでの韓国語教育においては非常に大きく, かなり早い段階から「가/이」は「主語標示」(Nominative Marker), 「는/은」は「主題標示」(Theme Marker)であることを教える必要があるとの意見もある(Cho他, 2013)。実際, アメリカ人韓国語学習者はこの2つの助詞の違いを「主語」と「主題」と整理し, 理解していた<sup>5)</sup>。しかし, 日本における韓国語教育の場合, この非対応による混乱, すなわち負の転移(negative transfer)はそれほど大きく取り上げられることはない。それは, 洪思満(1995・2002), Choi(2000)などで取り上げられたように, 「가/이」≠「가」, 「는/은」≠「ハ」による正の転移が大きいからである。日本でアメリカのように初級レベルでこのような専門用語を導入するのは却って混乱を来すきらいがある。正の転移が顕著であるだけに, しばしば学習者からこのような非対応について説明を求められる。この問題は, (13)~(16)で取り上げたように, 初級の前半の授業での内容になっているため, まだ韓国語に慣れていない日本語を母語とする学習者に説明を施す際に戸惑いを覚えない人はいないと思う。

本稿では, 取り分け(7)~(9)および(13)~(16)のような疑問詞疑問文における助詞の非対応の様子およびその理由を明らかにすべく, 和英辞典および英和辞典から拾い上げた30個の疑問詞疑問文の用例を対象にアンケート調査を行なった。その分析結果に基づいて日本における韓国語教育に還元できる説明の根拠を見出したい。以下では次のように考察をす

める。第2節では、先行研究について検討する。第3節では、英和辞典および和英辞典での用例の選定および調査方法、第4節では、疑問詞疑問文に見られる助詞選択の傾向、第5節では、韓国語の疑問詞疑問文の助詞選択に見られる2つの傾向について取り上げる。第6節では今までの考察をまとめる。

## 2. 先行研究の検討

先行研究の考察に入る前に、ハと「는/은」についての主な辞書での記述からそれぞれの全体像を捉えておこう。

日本語のハの場合、『大辞林』（2005：1992）では(18)のような用法を提示している。

- (18) ①特に一つの物事をとりあげて提示する。  
 ②題目を提示して、叙述の範囲をきめる。  
 ③二つ以上の判断を対照的に示す。  
 ④叙述を強める。  
 ⑤譲歩の気持ちを表わす。  
 ⑥動作・作用の行われる条件・事態を表わす。

また『大辞泉』（2012：2839）では、(19)のような用法を提示している。

- (19) ①判断の主題を提示する意を表す。  
 ②ある事物を他と区別して、または対比的に取り立てて示す意を表す。  
 ③叙述の内容、またはその一部分を強調して明示する意を表す。  
 ④(文末にあつて)感動・詠嘆を表す。  
 ⑤(形容詞・打消しの助動詞「ず」の連用形に付いて)順接の仮定条件を表す。

これに対して、「는/은」の代表として「는」の辞書の記述を見ると、『東亜新国語辞典』（2004：507）では(20)のように述べている。

- (20) 모음으로 끝난 말에 붙어, 그 말을 지정하여 가르키거나 다른 말과 대조하는 뜻을 나타내면서 주격・목적격・부사격 등으로 쓰이는 보조사.

[母音で終わる言葉に接続して、その言葉を指定して示したり他の言葉と対照する意を表わしたりし、主格・目的格・副詞格などに用いられる補助詞。] (訳は筆者の尹)

また韓国の国立国語研究院から出た『標準国語大辞典』(2005:1308)には(21)のようになっている。

- (21) ① (받침 없는 체언이나 부사어, 연결 어미 -아·-게·-지·-고 합성 동사의 선행 요소 따위의 뒤에 붙어) 어떤 대상이 다른 것과 대조됨을 나타내 는 보조사. [母音で終わる体言や副詞・副詞相当句, 連結語尾-아·-게·-지·-고の複合動詞の前項要素などに付いて) ある対象が他のことと対照されることを表わす副助詞。]
- ② (받침 없는 체언 뒤에 붙어) 문장 속에서 어떤 대상이 화제임을 나타내 는 보조사. [(母音で終わる体言に付いて) 文の中である対象が主題であることを表わす副助詞。] (訳は筆者の尹)
- ③ (받침 없는 체언이나 부사어, 일부 연결 어미 뒤에 붙어) 강조의 뜻을 나타내는 보조사. [(母音で終わる体言や副詞語, 一部の連結語尾に付いて) 強調の意を表わす副助詞。] (訳は筆者の尹)

(18)の①②③と(19)の①②が本稿の内容と関係のあるハの定義で, (20)(21)の韓国語の2つのメジャーな辞書の記述と相通ずるところがあることが分かる。(20)(21)の定義から「는/은」は「指定」「提示」「対照」「主題」などの意味を表わす助詞と整理することができよう。以上のような辞書での包括的な記述を念頭に入れて両方の対照研究での考察を見てみよう。

まず, 洪思満 (1995:173) は, 「는/은」を日本語のハと比較し, 次のような結論を提示する。

국어의 「는/은」과 「이/가」와의 비교는, 이른바 ‘話題’와 ‘主語’의 개념을 파악하는 수단이며, 또한 既知와 未知의 情報標識로 일본어의 「は」와 「が」와의 비교와 완전히 동일한 의의를 가진다. [韓国語の「는/은」と「이/가」との比較は, いわば「主題」と「主語」の概念を把握する手段であり, また既知と未知の情報標識として日本語の「は」と「が」との比較と完全に同じ意義を持つ。] (訳は筆者の尹)

また, 洪思満は, 『国語特殊助詞新研究』(2002:192)でも似たような結論を見出す。

국어의 조사 「는/은」과 「이/가」의 비교는 소위 ‘화제’와 ‘주어’의 개념 파악을 위한 수단으로, 일본어의 「は」와 「が」의 비교와 대체로 동일한 의미를 가진다. [韓国語の助詞「는/은」と「이/가」의 비교는, いわゆる「主

題」と「主語」の概念を把握する手段として、日本語の「は」と「が」との比較と概ね同じ意味を持つ。] (訳は筆者の尹)

洪思満 (2002) は、洪思満 (1995) より「완전히 (完全に)」から「대체로 (概ね)」に表現を少し変えただけで、ハと「는/은」の対応する用法について論じている。両者は確かに類似した性格を大いに持っているが、上記で取り上げたように違いもある。このような捉え方では(5)～(16)のような非対応は説明できない。

Choi (2000) では、*nun*と*wa*をtopicality (主題), genericity (総称性), contrastiveness (対照), logophoricity (談話性・発話主体指向性) の観点から取り上げ、ハと「는/은」との類似性を唱えている。しかし、Choi (2000: 242) では、両者の相違、すなわち本稿で取り上げる疑問詞疑問文での非対応について、言及はしたものの課題として残している。

ハと「는/은」の問題をわりと詳細に取り上げた研究として金智賢 (2009・2010) がある。金智賢 (2009: 152) では、「…このような疑問詞疑問文における日韓の違いは、本研究の観点からすると次のように言える。韓国語の場合、「eun/neun」を使えないのは、それを使うと「対比」の意味が出てしまうためであり、ここにおける「i/ga」は、「排他」の意味が薄れて殆どなくなってしまった「指定」の用法である。また、日本語の場合、「が」が使えないのは、その「排他」の意味のためで、ここにおける「は」は「eun/neun」の持たない特殊な意味を持つ用法であると考えられる」と述べている。確かに「는/은」が文脈や談話にもたらす意味に「対比」はある。しかし、疑問詞疑問文全般に見られる不一致がこの「対比」だけで説明できるほど、様相は単純ではない。また、疑問詞疑問文においても「는/은」は使える。そして、ハが持つとされる「特殊な意味」については説明が施されていない。

金智賢 (2010: 111) では、疑問詞疑問文に限ることではないが、「는/은」とハおよび「가/이」とガの性格を取り上げている。「排他」の意味・用法が優勢な「が」は主題に用いられないが、「が」に比べて「排他」の意味・用法が弱まることが多い「i/ga」は、「指定主題」というユニークな主題を作るものと考えられると述べている。金智賢 (2009・2010) は4つの助詞を取り上げ、それぞれの性格を論じていて従来の研究を前進させた点では評価できるが、肝心なところを「特殊な意味」「ユニークな主題」など曖昧にしている。今後明らかにしていく点も多いと思われる。

情報構造の観点から「는/은」を捉えようとした박철우 Park Cheolwoo (2003)をはじめ「는/은」を取り上げた多くの論文で、「는/은」は「主題」または「対照」を表わす意味機能を持つと論じられている。南基心・高永根 (1993: 102) では、次のように「는/은」の用法を提示し、「対照」の意味を表わすと説明している。

- (22) (가) 이곳에서는 수영을 할 수가 없습니다 (다른 곳에서는 할 수 있지만).  
 ここでは泳げません (他のところではできますが)。  
 (나) 이 사람이 일을 빨리는 하오 (잘하지는 못하지만).  
 この人は仕事が早くはできるよ (よくはできないが)。  
 (다) 이 책을 읽어는 보아라 (그러나 가져가지는 말아라).  
 この本を読んではみて(しかし持って行ったりはしないで)。

(訳は筆者の尹)

しかし、この(22)に含まれるのは( )の中の意味だけだろうか。「対照」は文脈からくみ上げた一部の意味、すなわち解釈の1つではなかろうか。

用例(22)を見ると、文頭に「ここ」「この」「この」など指示代名詞や指示詞<sup>6)</sup>が用いられていることが分かる。これは「는/은」が用いられる典型的な例で、話し手と聞き手が「ある状況を共有している」ことを意味する。これについては5-2で関連づけて取り上げることとする。

これまで、本稿で取り上げる助詞ハと「는/은」の辞書での記述を含め、ハと「는/은」についての捉え方も取り上げた。先行研究ではハと「는/은」の非対応の分析はさることながらその様子すらきちんと捉えていないことが分かった。「はじめに」で論じたように、このハと「는/은」の非対応の用法は非常に捉えにくい。本稿では、ハと「는/은」の非対応の実例を多く取り上げ、そこから見えてくる傾向を突きつめ、非対応の根拠を探っていくきたい。

### 3. 英和辞典および和英辞典での用例の選定と調査方法

本稿では、ハと「는/은」の対応に見られる不一致の現状を突き止め、説明の根拠を得る1つのとっかかりとして、主に日本で刊行された英和辞典および和英辞典に載っている疑問詞疑問文を30個拾い上げ、アンケート

調査を行なった。英和辞典および和英辞典を選んだ理由は、両言語のインフォーマントになるべく同じ状況を提示し、その答えから捉え方の違いをくみ上げたかったからである。母語だけを提示するより英語がついていると、状況判断がより具体的にできると思ったからでもあるが、何よりスタンダードを提示する辞書の用例は作例より信頼できるという理由もあった。調査をまとめたものが【表1】である。さらに考察の論拠を確かめるべく、韓日対訳小説『ソナギ』(2005, 短編小説), ドラマ『冬のソナタ』(2002, 全20話), アメリカ映画*You've got mail* (1998, 上映時間119分)の韓国語および日本語の字幕からも用例を採取しており, それも適宜提示する。

### 3-1 用例の選定

【表1】の用例は日本語の辞書類から疑問詞の前の名詞にハが接続している疑問文を30個(1つだけはガ)拾い上げ, 助詞を抜いた形で日本語母語話者6人に提示し, 適切な助詞を入れてもらった。韓国語の場合は, これらの英語を5人の英語関係者(英語教師, 英語英文学科卒業生, 英語教育を専攻とする大学生)に訳してもらったものと筆者たちが日本語訳を見て訳したものを折衷し, 【表1】のような質問事項を作成した。両言語ともなるべく同じ条件になるように調整した。韓国語においても日本語と同じく助詞を抜いた形で7人のインフォーマントに提示し, 適切な助詞を入れてもらった。

【表1】 日本語と韓国語の疑問詞疑問文における助詞の対応

番号	分類	質問	가	は	ga	nun	両方	指示詞
1	e.	When is your birthday?[TGC・EJ:1674]						
	j.	君の誕生日( )いつですか。[TGC・EJ:1674]		7				
	k.	생일( ) 언제예요?			7			
2	e.	When was the baby born?[LH・EJ:1612]						
	j.	赤ちゃん( )いつ生まれたの。[LH・EJ:1612]		7				
	k.	애기( ) 언제 태어났어요?			5	2		
3	e.	Since when has she been ill?[LH・EJ:1612]						
	j.	いつから彼女( )病気なの。[LH・EJ:1612]		7				
	k.	그녀( ) 언제부터 아팠어요?			1	5	1	○

4	e.	When did they get married?[LH·EJ:1612]							
	j.	二人( )いつ結婚したの。[LH·EJ:1612]	7						
	k.	그 사람들( ) 언제 결혼했어요?		1	5	1			○
5	e.	When will he arrive at Narita?[TGC·EJ:1674]							
	j.	彼( )いつ成田に着きますか。[TGC·EJ:1674]	7						
	k.	그 사람( ) 언제 나라타에 도착합니까?		1	5	1			○
6	e.	Where is the post office?[AAP:14]							
	j.	郵便局( )どこにありますか。[AAP:14]	7						
	k.	우체국( ) 어디예요?		5	1	1			
7	e.	Where is my hat?[LH·EJ:1613]							
	j.	私の帽子( )どこにありますか。[LH·EJ:1613]	7						
	k.	내 모자( ) 어디 있어요?		5	2				
8	e.	Who's that? It's Miss Tanaka.[TGC·JE:929]							
	j.	あれ( )だれ? 田中先生よ。[TGC·JE:929]	7						
	k.	저 사람( ) 누구니? 다나카 선생님이에요.		4	3				
9	e.	What is your name?[LH·EJ:1609]							
	j.	あなたの名前( )何というのですか。[LH·EJ:1609]	7						
	k.	이름( ) 뭐예요?		7					
10	e.	What is your favorite food?[TGC·EJ:508]							
	j.	あなたの大好きな食べ物( )何ですか。[TGC·EJ:508]	7						
	k.	좋아하는 음식( ) 뭐예요?		6	1				
11	e.	What's the longest word in English?[LH·EJ:822]							
	j.	英語でいちばん長い単語( )何?[LH·EJ:822]	7						
	k.	영어를 가장 긴 단어( ) 뭐예요?		3	4				
12	e.	What are those boxes?[TGC·EJ:1671]							
	j.	あれらの箱( )何ですか。[TGC·EJ:1671]	7						
	k.	저 상자들( ) 뭐예요?			6	1			○
13	e.	What is your father?[TGC:1671]							
	j.	君のお父さんの職業( )?[TGC:1671]	7						
	k.	아버지 직업( ) 뭐니?		5	2				
14	e.	What did he say to you?[TGC·JE:1163]							
	j.	彼( )君に何と言ったの。[TGC·JE:1163]	7						
	k.	그 사람( ) 너한테 뭐라고 말했니?		7					

15	e.	What day is it today?[TGC・EJ: 342]						
	j.	今日( )何曜日ですか。[TGC・EJ: 342]	7					
	k.	오늘( ) 무슨 요일이예요?		5	2			
16	e.	What date is it (today)?[TGC・EJ: 341]						
	j.	今日( )何日ですか。[TGC・EJ: 341]	7					
	k.	오늘( ) 며칠이예요?		6	1			
17	e.	What month has the shortest days?[TGC・JE: 1163]						
	j.	一番短い月( )何月ですか。[TGC・JE: 1163]	7					
	k.	가장 짧은 달( ) 몇 월이죠?		3	3	1		
18	e.	What time does the store close?[TGC・JE: 652]						
	j.	店( )何時に閉まりますか。[TGC・JE: 652]	7					
	k.	가게( ) 몇 시에 문 닫아요?			6	1		
19	e.	What is the population of Italy?[TGC: 1672]						
	j.	イタリアの人口( )どれくらいですか。[TGC: 1672]	7					
	k.	이탈리아의 인구( ) 얼마나 돼요?			6	1		
20	e.	What is your nationality?[TGC・EJ: 1672]						
	j.	国籍( )どちらですか。[TGC・EJ: 1672]	7					
	k.	국적( ) 어떻게 되세요?		7				
21	e.	What has become of the man?[TGC・EJ: 1671]						
	j.	その男( )どうなったのか。[TGC・EJ: 1671]	7					
	k.	그 남자( ) 어떻게 되었어요?		1	6			○
22	e.	How much do you weight?[TGC・JE: 1106]						
	j.	あなたの体重( )どのくらいですか。[TGC・JE: 1106]	7					
	k.	체중( ) 얼마예요?/ 얼마나 돼요?			7			
23	e.	How high are we (flying)?[TGC・JE: 1105]						
	j.	今高度( )どのくらいですか。[TGC・JE: 1105]	7					
	k.	지금 고도( ) 얼마나 돼요?			7			
24	e.	How large is the population of this city?[TGC・JE: 1105]						
	j.	この市の人口( )どのくらいですか。[TGC・JE: 1105]	7					
	k.	이 도시의 인구( ) 얼마나 돼요?			5	2		○
25	e.	How wide is this river?[TGC・EJ: 693]						

	j.	この川の幅( )どのくらいありますか。[TGC・EJ: 693]		7				
	k.	이 강 넓이( ) 어떻게 돼요?			4	2	1	
26	e.	How long is the bridge?[LH・EJ: 822]						
	j.	橋の長さ( )どのくらい?[LH・EJ: 822]		7				
	k.	다리 길이( ) 어떻게 돼요?			7			
27	e.	How much time do we have left?[LH・EJ: 677]						
	j.	残り時間( )どれくらいありますか。[LH・EJ: 677]		7				
	k.	시간( ) 얼마나 남았어요?			6	1		
28	e.	How was the weather in Chicago?[TGC・EJ: 1662]						
	j.	シカゴの天気( )どうでしたか。[TGC・EJ: 1662]		7				
	k.	시카고의 날씨( ) 어땠어요?				6	1	
29	e.	How many children do you have?[LH・EJ: 227]						
	j.	お子さん( )何人いますか。[LH・EJ: 227]		7				
	k.	애기( ) 몇 명이세요?			6	1		
30	e.	How many books are there on the desk?[TGC・EJ: 693]						
	j.	机の上に本( )何冊ありますか。[TGC・EJ: 693]	3	4				
	k.	책상 위에 책( ) 몇 권 있어요?			6	1		

### 3-2 用いられた疑問詞

採取した疑問詞の数および内訳は(23)のとおりである。「When」「Where」「Who」の3つは日本語も韓国語も対応する疑問詞が1つであるが、「What」「How」は両言語において多岐にわたっている。【表1】の用例の提示の順番は、「When」「Where」「Who」「What」「How」になっている。

(23) When・5例 + Where・2例 + Who・1例 + What・13例 + How・9例 = 計30例

When 5 = いつ 5, 언제 5

Where 2 = どこ 2, 어디 2

Who 1 = だれ 1, 누구 1

What 13 = 何 9 + Φ 1, どれ 1, どちら 1, とう 1

	= 뭐 6, 무슨 1, 며칠 1, 몇 월 1, 몇 시 1, 얼마나 1, 어떻게 2
How 9	= どの 5, どれ 1, どう 1, 何人 1, 何冊 1 = 얼마 (나) 4, 어떻게 2, 어떠하다 1, 몇 명 1, 몇 권 1

### 3-3 インフォーマントチェック

日本人インフォーマントは、大学をはじめ、教育機関で外国人、取り分け韓国人に対する日本語教育を行なっている 5人と翻訳に携わっている日本人計 6名<sup>7)</sup>に依頼した。

韓国人インフォーマントは、わりと英語に慣れていると思われる大学教員 (5人)、中学校の英語教師 (1人)、英語教育学科の学生<sup>8)</sup> (1人)に依頼した。

ここまで本稿で行った日韓両言語における疑問詞疑問文についてのアンケート調査の用例選定、調査方法、インフォーマントの構成などについて取り上げた。以下では、アンケート調査から浮き彫りになってきた両言語の助詞選択の傾向について詳しく見てみよう。

## 4. 疑問詞疑問文に見られる助詞選択の傾向

### 4-1 日本語の助詞選択の傾向

まず、【表 1】を見れば分かるように、全30問のうち、日本人は項目30を除いて、全員ハと答えた。これは、「疑問詞の前の助詞はハである」と教える日本語教育の規範性も関係していると思われる。『新版日本語教育辞典』(2005: 150)に「述語のほうに伝えたいことや聞きたいことがある場合は」「これははなんですか。」というふうに「は」が用いられると記述されている。この点が韓国語と大きく異なり、その結果が【表 1】に表わされている。唯一ハ 4人、ガ 3人と、意見が分かれた用例を見てみよう。

<30><sup>9)</sup> e. How many books are there on the desk? [TGC・EJ: 693<sup>10)</sup>]

j. 机の上に本 {は (4人)・が (3人)} 何冊ありますか。

<30>はそもそも辞書での日本語がハではなくガである。ハという答えもありうると思い、入れてみたところ 4人がハと答えた。<1>から<29>と違って答えが分かれたことにはいくつかの要因が絡んでいると考えら

れる。まず、ハと答えたのは、<1>から<29>までの流れもあり、やはり「何」という疑問詞の前なのでハと捉えやすかったのではないだろうか。また辞書での助詞の提示も含めたと答えた人は、まずは文頭に来ている「机の上に」の副詞句を「机の上にハ」と解釈した可能性があると考えられる。日本語の場合、文頭に来る名詞句は主題化されやすいためである。また「ありますか」という存在詞のことがある。存在詞は何より存在する主体を主語として求める。その主語に接続する助詞はガである<sup>11)</sup>。それぞれ文脈の捉え方に違いがあったために、意見が分かれたことではあるが、助詞1つの選択にも文中の様々な要素が影響し合っていることを改めて思い知らされた。

ここまでの日本語30個の用例の分析の結果は、『新版日本語教育辞典』(2005: 150)での記述を立証する結果となった。もちろん、疑問詞の前でも、文の構成要素によっては必ずしもハではないことも垣間見えた。(24)のような内包文の場合も意見が分かれた。

(24) e. I'm sorry to bother you, but would you tell me where the post office is. [TGC・EJ: 161]

j. ご迷惑をかけてすみませんが、郵便局 {は(4人)・が(3人)}  
どこか教えてください。

これについては他の用例を用いての追加調査が必要であると思われる。以下では、ばらつきが目立つ韓国語の方を見てみよう。

#### 4-2 韓国語の助詞選択の傾向

【表1】を見れば分かるように、英語の疑問詞疑問文の和訳30個に対する韓国語訳は同じ疑問詞疑問文でも日本語と相当異なる様相を呈している。すなわち、「はじめに」で取り上げた多くの用例のように、疑問詞の前の助詞が「すんなり」「ガ/イ」にはならないのである。金智賢(2009: 152)では、疑問詞疑問文では「는/은」が使えないと述べているが、10個の質問においては「는/은」が優勢である。ここで優勢というのはインフォーマント7人中5人以上がその助詞を選んだ場合を指す。ここに韓国語の疑問詞疑問文を捉える際の難しさが見え隠れする。日本語のように、疑問詞疑問文においての助詞の用法の定式化はできないのである。まず、韓国人全員が「ガ/イ」と答えた7つの用例について見てみよう。

## 4-2-1 ハに対応する助詞が「가/이」の場合

- <1> e. When is your birthday? [TGC・EJ: 1674]  
k. 생일이 언제예요?
- <9> e. What is your name? [LH・EJ: 1609]  
k. 이름이 뭐예요?
- <14> e. What did he say to you? [TGC・JE: 1163]  
k. 그 사람이 너한테 뭐라고 말했니?
- <20> e. What is your nationality? [TGC・EJ: 1672]  
k. 국적이 어떻게 되세요?
- <22> e. How much do you weight? [TGC・JE: 1106]  
k. 체중이 얼마예요?/ 얼마나 돼요?
- <25> e. How high are we (flying) ? [TGC・JE: 1105]  
k. 지금 고도가 얼마나 돼요?
- <26> e. How long is the bridge? [LH・EJ: 822]  
k. 다리 길이가 어떻게 돼요?

<14>を除いて文頭に来る名詞または代名詞に修飾句がないことが分かる。<14>については指示詞と関連づけて次の4-2-2で取り上げる。この場合、助詞は「가/이」である。すなわち、「생일이 언제예요?」「이름이 뭐예요」「체중이 얼마예요」などの疑問文（ここでは仮に「単純疑問文」と呼ぼう）の場合、助詞は「가/이」になる。これらの傾向は、用例(13)～(16)、韓国で出版された韓国語テキスト『ソウル大学韓国語 1』(2000/2005)や『西江New韓国語 1 A』(2008)、アメリカで出版された韓国語テキスト『한국말 하시네요! You Speak Korean!』(2003)およびINTEGRATED KOREAN (2010)などに見られる多くの用例からも確認できる。

さらに、12項目においては、「가/이」が優勢である。用例および比率は【表1】を参照されたい。30項目のうち、19個の名詞に「가/이」が接続することになるが、これを以て日本語の「疑問詞の前の助詞はハである」に倣って「疑問詞の前の助詞は가/이である」とは言い切れない。言えるのは「単純疑問文」の場合、という条件付きである。

なぜこういう結果になったのか、{가/이 (6人)・는/은 (1人)} と意見が分かれた<10>のような用例からその理由を探ってみよう。<10>において「는/은」の選択は間違いではない。文脈に対する状況判断が異なっ

ているだけである。<10>の場合、「좋아하는 음식 ( ) 뭐예요?」に「単純疑問文」のように答えた人が多い中で「는/은」を選んだ人は英語を見て、「당신이 좋아하는 음식은 뭐예요?」と解釈した可能性がある。この用例と直接関連する分析が第5節で用例(46)を以て行なわれたので、参照されたい。

<10> e. What is your favorite food? [TGC・EJ: 508]

k. 좋아하는 음식이 뭐예요?

実際、最初英語だけを提示して韓国語訳を依頼した時に、<9>の英語「What is your name?」に対して「당신의 이름은 무엇입니까?」と答えた人が2人いた。また、<20>の英語「What is your nationality?」に対しても「당신의 국적은 무엇입니까?」「당신의 국적은 어디입니까?」と2人の答えは「는/은」になっていた。このことから、疑問詞の前の名詞句に修飾句などがある場合、「는/은」が接続しやすいという傾向が浮上する。この傾向については4-2-2で詳しく取り上げる。

また項目<15>の場合、答えが {가/이 (5人)・는/은 (2人)} に分かれた。最初英語だけを提示して韓国語訳を依頼した際、<15>の英語に対して「오늘은 무슨 요일이예요?」と答えた人が2人いた。この2人は<13>と<20>に関しても「는/은」を選んでいる。文脈の捉え方に多少の個人差はあるようである<sup>12)</sup>。

<15> e. What day is it today? [TGC・EJ: 342]

k. 오늘이 무슨 요일이예요?

アメリカ映画 *You've got mail* (1998) で「What day of the week is it?」に対する両言語のそれぞれの字幕の訳が「오늘이 무슨 요일인가?」「今日は何曜日?」になっている。このことからやはり単純疑問文の場合、文頭の名詞句は「가/이」であると見るのが妥当であろう。

#### 4-2-2 ハに対応する助詞が「는/은」優勢の場合

疑問詞疑問文なのに、「는/은」が優勢な文もある。これらの文の特徴は文頭の名詞句や代名詞に指示詞または修飾句が伴っていることである。筆者たちはここに韓国語の疑問詞疑問文における日韓両言語の非対応の大きな理由が隠れていると考えている。

文中における指示詞「이 (この)」「그 (その・あの)」「저」(あの) が次の名詞に及ぼす影響は大きい。品詞分類による名称どおり、指示詞は対

象を指し示す役割を担う。対象を指し示すということは対象を「特定する」ないし「限定する」ことを意味する。指示詞が使われた疑問詞疑問文全部が「는/은」になっているわけではないが、指示詞が使われた疑問詞疑問文では「는/은」が接続する傾向は顕著である。これを確かめるべくインフォーマントに依頼した追加質問にもこの傾向は表われた。これについては【表2】を参照されたい。

【表2】 韓国語の疑問詞疑問文における助詞の取り方

番号	追加	質問	가/이	는/은	指示詞	両方	その他
1		생일( ) 언제예요?	7	0			
2		애기( ) 언제 태어났어요?	5	2			
	2-1	그 애기( ) 언제 태어났어요?	1	5	○	1	
	2-2	이 애기( ) 언제 태어났어요?	1	6	○		
3		그녀( ) 언제부터 아팠어요?	1	5	○	1	
	3-1	여동생( ) 언제부터 아팠어요?	0	6		1	
4		그 사람들( ) 언제 결혼했어요?	1	5	○	1	
5		그 사람( ) 언제 나리타에 도착합니까?	1	5	○	1	
6		우체국( ) 어디예요?	5	1		1	
7		내 모자( ) 어디 있지?	5	2			
8		저 사람( ) 누구니? 다나카 선생님이예요.	4	3	○		
	8-1	다나카 선생님( ) 누구데?	7	0			
9		이름( ) 뭐예요?	7	0			
10		좋아하는 음식( ) 뭐예요?	6	1			
11		영어에서 가장 긴 단어( ) 뭐예요?	3	4			
12		저 상자들( ) 뭐예요?	0	6	○	1	
13		아버지 직업( ) 뭐니?	5	2			
14		그 사람( ) 너한테 뭐라고 말했니?	7	0	○		
15		오늘( ) 무슨 요일이예요?	5	2			
16		오늘( ) 며칠이예요?	6	1			
17		가장 짧은 달( ) 몇 월이죠?	3	3		1	
	17-1	몇 월( ) 가장 짧아요?	7	0			
18		가게( ) 몇 시에 문 닫아요?	0	6		1	
	18-1	일본에서 은행( ) 몇 시에 문 닫아요?	0	7			
	18-2	일본에서는 은행( ) 몇 시에 문 닫아요?	7	0			
19		이탈리아의 인구( ) 얼마나 돼요?	0	6		1	

19-1	이탈리아는 인구( ) 얼마나 돼요?	7	0			
20	국적( ) 어떻게 되세요?	7	0			
21	그 남자( ) 어떻게 되었어요?	1	6	○		
22	체중( ) 얼마예요?	7	0			
22-1	연수입( ) 얼마예요?	6	1			
22-2	도쿄까지 차비( ) 얼마예요?	6	1			
22-3	사 곱하기 칠( ) 얼마예요?	0	7			
23	지금 고도( ) 얼마나 돼요?	7	0			
23-1	우리( ) 지금 얼마나 높이 날고 있어요?	5	1			1(Φ)
24	이 도시의 인구( ) 얼마나 돼요?	0	5	○		2
24-1	여기서 너네 학교까지 거리( ) 얼마나 되니?	6	1			
25	이 강 넓이( ) 어떻게 돼요?	4	2	○		1
26	다리 길이( ) 어떻게 돼요?	7	0			
26-1	이 다리( ) 얼마나 길니까?	0	6	○		1
27	시간( ) 얼마나 남았어요?	6	1			
28	시카고의 날씨( ) 어땠어요?	0	6			1
28-1	시카고는 날씨( ) 어땠어요?	7	0			
29	애기( ) 몇 명이세요?	6	1			
30	책상 위에 책( ) 몇 권 있어요?	6	1			
30-1	이 상자 안에 사과( ) 몇 개 들어 있어요?	7	0	○		

【表1】에서는指示詞・指示代名詞のある質問9つの中で6つの答えが, 「는/은」または「는/은」優勢となっている。【表2】では, 指示詞のある質問13個の中で9つの答えが「는/은」または「는/은」優勢となっている。これは何を意味するだろう。先に指示詞が用いられたにも関わらず答えが「는/은」になっていない3つの質問について見てみよう。

<8> e. Who's that? It's Miss Tanaka. [TGC・JE: 929]

k. 저 사람 이(4人)/은(3人) 누구니?

<14> e. What did he say to you? [TGC・JE: 1163]

k. 그 사람이(7人) 너한테 뭐라고 말했니?

<25> e. How wide is this river? [TGC・EJ: 693]

k. 이 강 넓이 {가(4人)/는(2人)/ 가・는(1人)} 어떻게 돼요?

質問<14>を除いては、答えから「가/이」とも「는/은」とも言い切れない部分があることが分かる。<30>での日本語インフォーマントが見せた様子と同じく、文中でどの要素を優先的に解釈したか、例えば文頭の指示詞を優先したかまたは疑問詞を優先したかによって判断の結果が分かれたと思われる。これについては更なる検証作業が必要である。

問題は答えがきれいに「가/이」になっている<14>だが、これは文が他の疑問詞疑問文と異なっている。すなわち、紛れもなく「그 사람 (彼)」は与格の「너한테 (君に)」を伴っている「말하다 (言う)」の主語である。<14>と同様の述語の文が『冬のソナタ』(2002)にも見られた。いずれも韓国語は「가/이」、日本語はハになっている。

(25) k. 그래서 미희가 뭐라고 하던가요? (第17話)

j. それでミヒは何と言っているのです?

(26) k. 어머님이 뭐라셔? (第17話)

j. お母さんは何だって?

日本語の場合は、主語であるにも関わらず、文頭名詞句として主題のハが用いられている。このような傾向は、(27)のような平叙文の調査でも現われた。日本人の答えが分かれたのに対して、韓国人5人の答えは全部「가/이」であった。同じ主語でも意志を持っている有情物主体とそうではない主体の違いはある。

(27) e. When he came, it was well past appointed time. [TGC・JE : 754]

j. 彼が来たときには約束の時間 {は (5人)・が (2人)} とうに過ぎていた。

平叙文にもこういう不一致があることは、すでに(6)に提示した。平叙文における不一致<sup>13)</sup>まで加わると、非対応の様子はより複雑になってくる。疑問詞疑問文のみならず、平叙文や否定文でのハと「는/은」の非対応を捉えてこそ、両者の全体像が見えてくるのは言うまでもないことである。しかし、これは本稿での考察の範囲を超えるので、稿を改めて取り上げることにする。

ここまでの考察から、従来部分的には取り上げられてきたものの、疑問詞疑問文全般にわたって具体的に取り上げられることのなかった日韓両言語における助詞選択の様子が浮き彫りになった。さらに、日本語の場合は、「疑問詞の前の助詞はハである」ということが今回の調査からも確認でき

た。韓国語の場合は主に韓国語テキストにおいて取られている「疑問詞の前の助詞は「가/이」である」という見方が間違っていないものの、文頭の名詞句に「指示詞」「修飾句」などが用いられるとそれが助詞の選択に影響を及ぼしていることが傾向として指摘できる結果が得られた。以下ではこの傾向について、他のメディアから採集した実例も加えながらさらに詳しく見てみよう。

## 5. 韓国語の疑問詞疑問文の助詞選択に見られる2つの傾向

前節でのアンケート調査の結果から韓国語の疑問詞疑問文においては「가/이」と「는/은」の選択に傾向があることが分かった。すなわち、単純疑問文においては「가/이」が、文頭に指示詞や修飾句が用いられた場合は「는/은」が接続しやすい傾向があることが浮き彫りになった。以下ではさらに用例を加えながらこの傾向を検証する。

### 5-1 単純疑問文と「가/이」

韓国語において疑問詞疑問文、取り分け文頭に指示詞、指示代名詞または修飾句を伴わない「単純疑問文」の場合、疑問詞の前の助詞は「가/이」と言える。『ソナギ』（2005）および『冬のソナタ』（2002）から採取した実例からこの傾向を確かめてみたい。まず、原文が韓国語である『ソナギ』の日韓対訳本の例から見てみよう。『ソナギ』からは3つの用例が得られた。

- (28) k. 애, 이게 무슨 소개니?  
 j. ねえ、これΦ 何の貝なの？
- (29) k. 저게 뭐니?  
 j. あれΦ 何？
- (30) k. 이 꽃들 이름이 뭐니?  
 j. この花たち 名前Φ なんていうの。

日本語の場合はいずれも助詞が省略されている<sup>14)</sup>。日本人インフォーマント6人に助詞を入れてもらったところ、全員の答えはハであった。辞書の用例を対象にした調査の結果と同じである。「疑問詞の前の助詞はハである」という「日本語の一種のルール」は徹底しているように思われる。こういうルールと関係があるのかは定かではないが、日本語の会話文の場合、助詞の省略は韓国語より顕著である<sup>15)</sup>。『冬のソナタ』（2002）から採

集した(31j)～(32j)のような例も見てみよう。

(31) k. 그게 무슨 소리니? (第2話)

j. それΦ, どういうこと。

(32) k. 여기가 어디예요? (第9話)

j. ここΦ, どこですか。

韓国語はいずれも助詞「가/이」を省略すると、不自然ないし非文に近い。

(31)(32)以外にも『冬のソナタ』から多くの非対応の例が見られた。いくつか挙げておこう。

(33) k. 여기가 도대체 어디야? (第1話)

j. ここは一体どこなのよ?

(34) k. 이사님, 첫사랑이 누구였어요? (第5話)

j. それよりも理事 初恋の人はどんな人ですか。

(35) k. 좋아하는 색깔이 뭐예요? (第5話)

j. 好きな色は何ですか。

(36) k. 너 그게 뭐니? (第8話)

j. それは何なの。

(37) k. 유진 씨 집이 어디예요? (第10話)

j. ユジンさんの部屋は?

(38) k. 제 아버지가 누구예요? (第15話)

j. 僕の父親はだれなの?

(39) k. 너 지금 그게 무슨 소리아? (第15話)

j. それはどういうことだ?

映画*You've got mail* (1998) からも(40)(41)のような非対応の例が見られた。

(40) e. How old is your daughter now?

k. 지금 따님이 몇 살이죠?

j. 娘さんは幾つ?

(41) e. Who's the author?

k. 작가가 누구죠?

j. 作者は?

また, *You've got mail* (1998) に訳がそのまま対応しないものの, 韓国語を日本語に直訳すると非対応になる「그게(それは) 누구죠?」「친 이름이(生地の名前は) 뭐죠?」「이유가(理由は) 뭐죠?」「저게(あれは) 뭐야?」

「상품이(商品は) 뭐죠?」「이게(これは) 뭐죠? 손수건이야.」「그게(それは) 무슨 뜻이죠?」「스트리트필드, 철자가(綴りは) 어떻게 돼요?」などの訳も見られた。「単純疑問文」の場合、「가/이」が用いられるという傾向はここからも確認できた。

## 5-2 指示詞と「는/은」

前節での考察から韓国語の疑問詞疑問文に指示詞、指示代名詞または修飾句が用いられた場合、疑問詞の前の助詞は「는/은」になる傾向が顕著であると述べた。韓国で出版された英語テキストおよび辞書での用例からもこの傾向を確かめてみよう。

- (42) e. How much is this book? (成文：94)  
 k. 이 책은 얼마입니까? (成文：94)  
 j. この本はいくらですか。[訳は筆者の尹]
- (43) e. How old is the baby? (ESSENCE：1867)  
 k. 그 어린애는 생후 얼마나 되었습니까?  
 j. その子は生後何か月ですか。[訳は筆者の尹]

(42)の英語の韓国語訳は「이 책은 얼마입니까?」になっている。これは「이 책이 얼마입니까?」より容認度が高い。「이 책이 얼마입니까?」は筆者たちの語感だと非文に近い。「이 책은」と発話した時、これは不特定の対象を指し示すのではなく話し手と聞き手が知っている、すなわち共有している特定の対象を指す質問だからである。이정민Lee (1992：398)では、「는/은」を限定を表わす典型的な主題マーカーとして取り上げている。また「指示詞+名詞」の場合もだいたい「限定的」とであると論じている。さらに、이정민 (1992：399)では、指示詞「이(この)」「그(その・あの)」「저(あの)」が加わると「限定性」が明らかになると述べている。この指摘は指示詞が用いられた文では「는/은」が接続しやすいという本稿での用例分析の結果と符合する。用例(22)での「는/은」の用法がこれに相当する。また(42)の「이 책」, (43)の「그 어린애」は指示詞により限定的になり、「는/은」が接続しているのである。

対象が明らかな場合、すなわち話し手と聞き手にとってその情報が共有されている場合「는/은」が用いられる。疑問詞疑問文において、これが同じ文型に見えても助詞が「가/이」か「는/은」かに分かれる理由である。『冬のソナタ』からの例を1つ見てみよう。

(44)k1. 폴라리스의 일정은 어떠세요?

k2. \*폴라리스의 일정이 어떠세요?<sup>16)</sup>

j. そちらの日程は?

(44k1)の場合、話し手と聞き手である両者が日程調整のために集まっているため、「そちら(ポラリス)」の日程は話し合いの前提になっている。このように両者にとって前提が共有されていると助詞は「는/은」になる。しかし、文脈が異なる(45)のような用例では、「가/이」が接続する。話し手にとって味が特定できない、すなわち共有できないからである。

(45)k1. 맛이 어때요? (\*味がどうですか。)

k2. ?맛은 어때요? (味はどうですか。)

アメリカ映画*Sleepless in Seattle*(1993)に同じ疑問詞「어때」を用いた例があった。両言語の訳はそれぞれ「그 실내 장식가는 어때?」「あのインテリアデザイナーはどう?」になっている。話し手と聞き手にとって「あのインテリアデザイナー」は共有されている情報、すなわち知り合いであるため「는/은」が用いられたのである。

ここまでの考察から、韓国語の疑問詞疑問文において、文頭に指示詞や修飾句がある場合、疑問詞の前の助詞は「는/은」になりやすいという傾向が他の事例からも確認できた。これは対象を指し示す指示詞や名詞の意味を限定する「당신의」「폴라리스의」などの修飾句の存在が疑問詞の前の名詞を限定したため、限定を表わす主題マーカである「는/은」が接続できたのである。

### 5-3 「가/이」から「는/은」への助詞交替の条件

ここまで見てきたように、韓国語では「単純疑問文」の場合、疑問詞の前の名詞句に接続する助詞は「가/이」である。しかし「는/은」が接続したからといって必ずしも非文になるわけではない。文脈が異なるだけである。ここに韓国語の助詞選択の難しさがある。『冬のソナタ』に以下のような流れで助詞が「가/이」から「는/은」に交替するシーンがある。

(46) k. (사진을 보고)이게 뭐죠? (第12話)

j. これ, 何なの?

(47) k. (사진 속의 장면을 가리키며)여기 어디예요? (第12話)

j. ここはどこ?

(32)の「여기가 어디예요?」と(34)の「여기가 도대체 어디야?」では「가」

だった助詞が(47)ではなぜ「여긴=여기는」のように「는/은」に変わったのだろう。(47)の場合は、「ここ」という情報が話の流れから話し手と聞き手にとって共有されたからである。シーンから両者が場面を共有していることは確かであろう。「談話における場面の共有」(ここでは 이정민 に倣って「談話域<sup>17)</sup>」と呼ぼう)という状況が単純疑問文なのに助詞が「가/이」ではなく「는/은」に変わった要因であると考えられる。『冬のソナタ』第7話に「가/이」から「는/은」に交替するシーンがもう1つあった。ここからも傾向を確かめてみよう。

(48)k1. 아, 맞다! 유진 씨 좋아하는 색깔이 흰색이었죠?

j1. ああ, そうか。好きな色は白でしたね?

k2. 좋아하는 계절은 겨울이고.

j2.好きな季節が冬。

k3. 좋아하는 음식은 뭐예요?

j3.好きな食べ物は?

(48k3)の場合、「좋아하는 음식은 뭐예요?」になっている。<10>で韓国人インフォーマント6人が選んだ答え「좋아하는 음식이 뭐예요?」がこの文脈だと不自然になる。話し手と聞き手が談話域に入っているからである。文頭に「유진 씨가」が省略されたと考えると文の不自然さは増す。

ここまで、「単純疑問文」ではあるが、指示詞や修飾句など文中での要素のみならず、談話レベルで話し手と聞き手が「談話域」に入っている場合も「는/은」が使われることが確認できた。ここで、「는/은」が意味レベルのみならず談話レベルでの助詞であることも確認できた。

#### 5-4 「는/은」と談話上の「前提」

本稿では、文頭に来る名詞または代名詞に指示詞や修飾句のない疑問文を「単純疑問文」と称した。この単純疑問文の場合、疑問詞の前の名詞句に接続できる助詞は主格を表わす「가/이」か主題を表わす「는/은」のどちらかである。構文レベルで文頭の名詞句に接続するのは主格助詞「가/이」である。この位置は決まっている。主語としての位置を示すだけで文に特定の意味を加えたりはしない。しかし、意味論・語用論レベルの「는/은」は文に何らかの意味を加える。「는/은」が文頭に現われると「主題」または「対照」の解釈になり、文中に現われると「強調」などの解釈になる所以である。これには、南基心・高永根(1993:102)での「対照」, 金

智賢(2009:152)での「対比」の意味も含まれる。

「는/은」が文脈や談話にもたらす意味には「主題」「対照」「対比」ではカバーできない要素がある。これだけを「는/은」が用いられる理由として捉えると「는/은」が文脈や談話にもたらす意味が矮小化してしまう。これは、やはりChoi(2000)で指摘されたように、「前提(presupposition)」と見なすのが妥当であろう。「主題」「対照」「対比」などの意味や解釈はあくまでも「는/은」が文脈にもたらす「前提」の一部なのである。「는/은」が文脈にさまざまな意味を加えることに比べ、「가/이」は主語としての役割を果たすのみである。日本語で、ガでマークされる文を「陰題文」または「無標文」、ハでマークされる名詞句を「顕題文」または「有標文」と言っていることと相通ずるところがある(『新版日本語教育辞典』(2005:150)参照)。

#### 5-5 単純疑問文と「는/은」

単純疑問文において、なぜ韓国語は主題マーカーとされている「는/은」が現われにくいのか。すなわち、なぜ(49k1)の方が(49k2)より容認度が高いまたは選択されるのか。

(49)k1. 공연장이 어디야? (第9話)

k2. ?공연장은 어디야?

j. 会場はどこ?

それは文脈上・談話上「前提」が曖昧であるからである。話し手と聞き手が「談話域」に入っていないと、「는/은」の意味である「限定性」は加えられない。限定の意味を加える「는/은」は不特定の名詞には接続できない。「는/은」には話し手の主観が何らかの形で文脈に反映される。「不特定」と「限定」の性質は矛盾するからである。「는/은」は接続する名詞句が限定されない場合、その名詞句に接続できないのである。これが(7)～(9)および(13)～(16)に「는/은」ではなく「가/이」が用いられた理由である。

「가/이」は文頭の名詞句の意味を限定する必要もなく、本来の位置である文頭に座って主語としての文法的機能を果たす。主格の「가/이」と対格の「를/을」以外の助詞は文に何らかの意味を加えるため、省略もできない。省略すると文中にもたらそうとした意味まで消えてしまう。また「가/이」や「를/을」のようにハに取って代わることもできない。南潤珍

(2005: 159) の「表1」に格助詞と補助助詞に接続した「는/은」の統計が提示されているが、格助詞「가/이」および「를/을」に「는/은」が接続した例はない。「가/이」が「主格助詞」, 「를/을」が「対格助詞」と呼ばれる所以である。

## 6. おわりに

本稿では、疑問詞疑問文に見られる助詞ハと「는/은」の非対応について、辞書・ドラマ・映画などでの用例を中心に見てきた。ここから韓国語の疑問詞疑問文においての助詞選択に見られる2つの傾向が浮き彫りになった。それは、①文頭の名詞句や代名詞が指示詞または修飾句を伴わない「単純疑問文」の場合、「가/이」になる。従来、多くの韓国語テキストで取り上げられた用例がこれに該当する。「가/이」は主語である。

②文頭に指示詞や修飾句がある場合、疑問詞の前の助詞は「는/은」になりやすい。限定を表わす主題マーカである「는/은」は、対象を指し示す指示詞や名詞の意味を限定する修飾句があると、疑問詞の前の名詞を限定できるのである。疑問詞の前の名詞が限定されているかどうかで「가/이」と「는/은」の選択が分かれる。この傾向からさらに、「単純疑問文」の場合でも、談話上の前提がある場合、すなわち話し手と聞き手に「談話域」が成り立った場合も「는/은」が用いられることが分かった。

日本語のハは疑問詞の前の名詞句が限定されなくても文頭に来られるが、同様の意味と役割を担っていると見なされてきた韓国語の「는/은」は文頭に来られない。これは「는/은」が持つ「限定性」に還元する違いである。日本語のハは「限定性」より「特定性」を持つと思われるが、これについての議論および考察は稿を改めて論じることにはしたい。

## 注

- 1 接続する体言が母音で終わる場合は「는」, 子音で終わる場合は「은」が用いられる。主格の「가/이」や対格の「를/을」も同様である。
- 2 接続する体言が母音で終わるか子音で終わるかによって「는/은」「가/이」「를/을」が使い分けされるのに対して、「에/에게」は接続する体言が非情物か有情物かによって使い分けされる。「에서」は接続する体言の性質の影響を受けない。
- 3 例えば、尹亭仁(2001a)は両言語における二重対格標示について、尹亭仁(2001b)は動詞「行く」と「来る」に用いられる両言語の助詞ニと「를/을」の違いについて

論じている。尹亨仁（2005）は、両言語の使役構文および受身構文に見られる非対応を与格助詞ニと「에/에게」の機能上の違いから捉えている。

- 4 「補助詞」「補助助詞」「特殊助詞」と呼ばれている。
- 5 ハーバード大学で東洋学 (Esat Asian Studies) を専攻したMollie Kirk (会社員, 1985年生まれ, 女性) のケースである。
- 6 韓国語学の文法用語では「지시 관형사 (指示 冠形詞)」である。
- 7 インフォーマントは6人で、辞書での用例の助詞を1人分としてカウントし、韓国語と同様7人として計算した。
- 8 この際は、ソウル大学英語教育学科Lee Byung-min教授の協力を得た。ここに記してお礼申し上げる。
- 9 < >は【表1】に載っている質問番号を表わす。
- 10 引用元の辞書の略称とページである。辞書のタイトルなどは参考文献を参照されたい。
- 11 この捉え方に問題がないか確かめるべく、日本語教育歴約20年のベテランのインフォーマントにガと答えた理由を聞いたところ、まさにポイントが一致する返事が帰ってきた。存在詞が用いられている【表2】の質問項目<7><30-1>の調査結果も参考としてご覧いただきたい。
- 12 実際、30項目に対して、「ㄴ/은」を選んだ比率が高かった1人のインフォーマントに本人の傾向を話したところ、そういう傾向があるかも知れないとの返事をしてきた。ちなみに、このインフォーマントは日本での生活が20年以上であるため、多少日本語の影響を受けているとも考えられる。しかし、本文で取り上げた2人は英語が専門で日本語にはほとんど接していない。
- 13 4人の韓国人の30分間の自然発話を調べた高木（2013:152）の結果に、「私 |が→は| 結構人見知りだなと思いました」のように、ハではなくガが用いられた誤用のケースが9回報告された。これが助詞の誤用の中では最も多かった。この文を韓国語で考えると、助詞は「가/이」であり、母語の干渉が起きていると言える。追加調査が必要であるが、「言う」「思う」など、文頭名詞句が主語としての性格が強い動詞の場合、韓国語は「가/이」であると思われる。これの反対の例、すなわちハなのにガが用いられたのは2回あった。これも動詞は「考える」である。内包文での主語をハで捉えていた。
- 14 この場合、助詞が省略されたのか、そもそも無助詞だったのかについては議論しない。「助詞の省略」「無助詞」「ゼロ助詞」など、見方によって用いる用語に違いはあるが、本稿での論点と直接関係はない。
- 15 現在エール大学で日本語の教材として使用している*Japanese: The Spoken Language*(1987) のPART1に「Sore, nân desu ka?」(p.84) の用例が載っている。アメリカで出版された韓国語テキスト『한국말 하시네요! *You Speak Korean!*』(2003) や*INTEGRATED KOREAN*(2010) などが疑問詞疑問文における「가/이」の用例を多く提示していることは対照的である。

- 16 文頭の\*は当該の文が成り立たない, ?は文が不自然であることを表わす  
 17 이정민Lee Chungmin (1992: 397) での用語で, 韓国語は「화역(話域)」になっている。

### 参考文献

<韓国・アメリカで出版されたもの>

- 金智賢 (2010) 「無助詞及び「은/는」「は」, 「이/가」「が」と主題について」『日語日文学研究』72-1, 韓国日語日文学会  
 南基心・高永根 (1993) 『標準国語文法論』, 塔出版社  
 南潤珍 (2005) 「現代国語 助詞 ‘-은/는’ 의 分布와 機能: 初等学校 国語教科書を 中心으로」『우리말 研究 서른아홉 마당』, pp.158-191, 太学社  
 박철우Park, Cheulwoo (2003) 『韓国語情報構造에서의 主題와 焦点』 図書出版亦楽  
 이정민Lee, Chungmin (1992) 「(非) 限定性/(不) 特定性」对 主题(Topic)/焦点」『国語学』22, pp.397-424, 国語学会  
 洪思満 (1995) 「特殊助詞「는/은」과 副助詞「は」との比較」『韓・日語対照語学/論考』, pp.129-175, 塔出版社  
 洪思満 (2000) 『国語特殊助詞 新研究』 図書出版亦楽  
 Young-mee Yu Cho・Ji-Young Jung・Minyoung Park (2013) “Pedagogical Scenarios for Teaching Topic/Nominative Marking in Discourse” Susan Strauss (ed.) *THE KOREAN LANGUAGE IN AMERICA* Vol.18, pp.40-70

<日本で出版されたもの>

- 生越直樹 (2002) 「日本語の助詞「に」と朝鮮語の助詞「에게」をめぐって」『日本語学と言語学』 明治書院, pp.43-54  
 金智賢 (2009) 「現代韓国語と日本語の談話における無助詞について—主語名詞句及び文頭名詞句を中心に—」 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士論文  
 尹亭仁 (2001a) 「韓国語と日本語における二重対格標示について—成立条件を中心に」『日文学報』47, pp.93-108, 韓国日本学会  
 —— (2001b) 「移動動詞「行く」「来る」の格標示と名詞句の意味特徴—韓国語の「gada」「oda」との対照の観点から」『日本語教育』110, pp.82-91, 日本語教育学会  
 —— (2005) 「韓国語と日本語のヴォイス構文に関する対照研究—動作主の格標示と構文の生産性を中心に」 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士論文

## 【テキスト】

- 生越直樹・喜喜澈 (2000/2011) 『韓国朝鮮語初級テキスト ことばの架け橋』白帝社  
 金京子 (2010) 『パランセ韓国語中級』朝日出版社  
 金京子・喜多恵美子 (2009) 『パランセ韓国語 初級』朝日出版社  
 ソウル大学言語教育院 (2000/2005) 『韓国語 1』Moonjin media  
 西江大韓国語語学院 『西江New韓国語 1 A』(2008) 西江大韓国語語学院  
 宋成文 『成文基礎英文法』(1995) 成文出版社  
 전경린 Jeon Kyongrin (2007) 『천사는 여기 머문다』 문학동네  
 谷澤恵介・白尚憲 『耳から入る韓国語 2-にわか雨 (ソナギ)』(2005) Gakken  
 安岡明子訳 (2003) 『『冬のソナタ』で始まる韓国語』キネマ旬報社  
 Eleanor Harz Jordan with Mari Noda (1987) *Japanese : The Spoken Language* Yale University Press  
 Naoko Chino (1991/2012) *All About Particles* KODANSHA USA  
 Soohee Kim, Emily Curtis, Haewon Cho 『한국말 하시네요! *You Speak Korean!*』(2003) PARADIME BUSTERS  
 YOUNG-MEE CHO, HYOSANG LEE< CAROL SCHULZ, HO-MIN SOHN, SUNG-OCK SOHN(2010), *INTEGRATED KOREAN, BEGINNING 1*

## 【辞書類】

<日本で出版されたもの>

- 小西友七編修 (2005) 『グランドセンチュリー和英辞典』(第2版) 三省堂  
 木原研三編 (2005) *THE GRAND CENTURY ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY* (第2版) 三省堂  
 日本語教育学科編 (2005) 『新版日本語教育辞典』大修館書店  
 松村明編 (2005) 『大辞林』三省堂  
 尹亭仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』三省堂  
 ——編 (2014) 『身につく韓日・日韓辞典』三省堂

<韓国出版されたもの>

- 李基文監修 (1989/2004) 『東亞 새 国語辞典』(第5版) 東亜出版社  
 金星出版社編 (2004) 『訓民正音国語辞典』金星出版社  
 民衆書林編集局編 (2011) *STANDARD ENGLISH-KOREAN DICTIONARY* 辞書専門民衆書林

<略称表記>

- 『ソナギ』『耳から入る韓国語 2-にわか雨 (ソナギ)』(2005)  
 『冬のソナタ』『『冬のソナタ』で始まる韓国語』(2003)  
 [成文] 『成文 基礎英文法』(1995)  
 [AAP] *All About Particles* (1991/2012)  
 [TGC・EJ] *THE GRAND CENTURY ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY*

(2005)

[TGC・JE] 『グランドセンチュリー和英辞典』 (2005)